慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	東京大学附属図書館所蔵のイギリス初期刊本 : English Short Title Catalogue 登録に向けて
Sub Title	A research note on the University of Tokyo Library's early English books: toward registering Japanese entries into the ESTC
Author	徳永, 聡子(Tokunaga, Satoko)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2010
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 英語英米文学 (The Hiyoshi review of English studies). No.56 (2010.) ,p.49- 58
JaLC DOI	
Abstract	The online version of the English Short Title Catalogue (ESTC) is a database that is designed to include bibliographic records of surviving copies of letterpress produced in Great Britain or any of its dependencies worldwide from 1473–1800 (http://estc.bl.uk). One of this online catalogue's advantages is that it has enhanced the surviving copies' information. A sample search of this online catalogue, however, soon reveals that it contains few entries detailing holdings in Japanese libraries. This is simply because no systematic research has examined Japanese holdings. To register Japanese entries in the ESTC, the present writer started to compile a list of early English printed books housed in Japanese libraries, with a special focus on books dating from the 15th and 16th centuries. Of the various copies that the writer has found so far, this paper sheds light on a unique collection, housed in the University of Tokyo Library, which the British government donated to support the Tokyo UL's restoration, which suffered great damage from the Great Kanto Earthquake in 1923. This paper's appendix provides the list of all the 16th-century copies of this special collection, some of which have not been recorded before.
Notes	研究ノート
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20100331-0049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

【研究ノート】

東京大学附属図書館所蔵のイギリス初期刊本

—— English Short Title Catalogue 登録に向けて ——[1)]

徳　永　聡　子

書物を中心とする研究には一次資料の所在の把握が欠かせない。近年ではデジタル化の発展とともに，そうした情報の開示が急速に進みつつあるが，イギリス文学・書誌学の分野で重要なのが大英図書館を拠点として発信される English Short Title Catalogue（ESTC）である[2)]。この ESTC は，1473 年から 1800 年までにイギリスとその属国で出版された書物，英米以外の国で英語あるいはイギリス市場向けに印刷された書物の書誌情報を収録する。既刊の冊子体の書誌目録 *A Short Title Catalogue of Books Printed in England... 1475–1640*（STC）などの内容を継承し[3)]，オンライン版として発展させたもので，各版の著者名・書名・出版情報・書誌学的

1）　本研究の調査を進めるにあたり，東京大学総合図書館参考調査係のスタッフに多大なるご協力をいただいた。とりわけ石川一樹氏には貴重な情報を提供いただき心より御礼申し上げたい。

2）　English Short Title Catalogue: http://estc.bl.uk（最終閲覧日：2010 年 1 月 25 日）。

3）　*A Short-Title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, & Ireland and of English Books Printed Abroad 1475–1640*, first compiled by A. W. Pollard and G. R. Redgrave, 2nd edn, revised and enlarged by W. A. Jackson, F. S. Ferguson, and Katharine F. Pantzer, 3 vols (London: Bibliographical Society, 1986–91).

な特記事項などが記されているほか，所蔵に関する情報も収録されている。

このESTCの最大の強みは情報更新が可能となったこと，また所蔵館情報の充実化が進んだことであろう。冊子体の目録では紙面の都合上，所蔵館については掲載する分量や更新に限界があった。だがオンライン化されたことにより，網羅的かつ随時新しい情報を掲載することができる。実際のところESTCの所蔵館情報は冊子体のSTCのそれと比べてはるかに多い[4]。

各版の現存本が世界中のどこにあるのかを示す所蔵館情報は，一般に既刊の蔵書目録やOPACなどのオンライン蔵書目録，各図書館からの報告，専門家の調査結果などに基づき更新される。西洋初期刊本の場合，書誌目録の代表的な例として15世紀刊本を対象としたIncunabula Short Title Catalogue（ISTC）が挙げられるが[5]，大英図書館内にあるISTC編集室には，日本に所在するインキュナブラに関する情報も定期的に寄せられている。それとは対称的に，ESTCには日本からの報告は皆無に近く，国内の各図書館が所蔵するコピー情報はほとんど登録されていない。たとえば慶應義塾図書館は少なくとも45点の15・16世紀イギリス初期刊本を所蔵するが，ごく最近までその全容は把握されていなかった[6]。このためESTCには慶應本は一冊も登録されていない。

初期刊本など西洋貴重書の書誌学的調査を行うためには専門性が要されることもあり，日本国内の図書館ではなかなか対応できないという事情も

4） 一方で，ESTCの書誌記述には誤謬も少なくないことに留意する必要もある。この問題について論じた最新のものとして次の論考が参考になる：Stephen Tabor, ‘ESTC and the Bibliographical Community’, *Library*, 7th ser. 8 (2007), 367–86。

5） Incunabula Short Title Catalogue: http://www.bl.uk/catalogues/istc/（最終閲覧日：2010年1月25日）。

6） 詳細は，Satoko Tokunaga, ‘Early English Books of Keio University Library’, *Geibun-Kenkyu*, vol. 95 (2009), 8–17を参照されたい。

ある。筆者はこうした現状を打破すべく，日本国内における 15・16 世紀のイギリス刊本所在調査を 2007 年秋より行っている。この調査を進めるなかでとりわけ興味深く思われた資料は，東京大学附属図書館所蔵の「英国書史関係集書」である[7)]。これは関東大震災後の復興支援としてイギリス政府から寄贈されたもので，15 世紀末から 20 世紀初頭のイギリス印刷史を研究する上で重要な資料を数多く含んでいる。現在は本郷キャンパスの総合図書館の貴重書室に保管されている。

大正 12（1923）年 9 月 1 日，関東地方を襲った大地震は，東京帝国大学附属図書館にも壊滅的な被害を与え，70 万点にも及ぶ蔵書が焼失するとともに建物も灰燼に帰した。当時の記録によると，震災直後より，国内の各所から寄贈の申し込みや東京の各国大使から復興援助の申し出があり，復興に向けた支援活動が早い段階から始まっている[8)]。また大学では蔵書の再構築のために図書復興委員会が設置され，ここから各国へ援助依頼状が送付された。さらにこの委員会はアメリカとヨーロッパに 3 名の教授を派遣し，長期的な支援要請のための活動を展開させた[9)]。

こうした一連の動きの結果，各国において東京帝国大学附属図書館の復興事業を援助する組織や運動が起こり，多額の寄付金と膨大な量の書籍の寄贈が寄せられた。寄付者のなかにはジョン・ロックフェローやピアモント・モーガンといったアメリカの大富豪の名も連なっている。また当時の寄贈や寄付について記録した『東京帝國大學附屬圖書館復興帖』によると，ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国はもとより，中国，インド，タイ，アルゼンチン，メキシコ，ロシア，エストニア，エジプトなど，世界中の国々

7）URL: http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/collection.html（最終閲覧日：2010 年 1 月 25 日）。この寄贈については最初に髙宮利行・慶應義塾大学名誉教授よりご教示いただいた。

8）『東京帝國大學附屬圖書館復興帖―大正十二年より昭和四年に亙る復興帖報告及圖面』（［東京］：東京帝國大學附屬圖書館，1930 年），p. 7。

9）前掲書，pp. 1, 7。

から図書館復興事業に向けた援助が寄せられている[10]。

なかでも支援へ向けた動きにもっとも迅速に対応したのはイギリスであった。早くも震災の数ヵ月後に，英国学士院において復興援助の特別委員会が組織されている。またイギリス議会では，図書購入費として 25,000 ポンドの支出案が可決され，イギリス外務省と英国学士院の協力のもと政府資金委員会が設立された。その名誉幹事には中世英文学者イスラエル・ゴランツが就任している[11]。この資金委員会は，英国大使を通じて東京帝国大学との協議を重ねた結果，震災の被害がもっとも大きかった人文科学関係の図書，自然科学と医学関係の書籍の送付を決定した。そして寄贈の締めとして，イギリスの印刷術と製本術の変遷を示す 163 点にもおよぶ貴重書が選定された。その発送に先立ち，昭和 4（1929）年 5 月 9 日には，ロンドンの外務省内で展覧会が催され，寄贈書の代表としてケルムスコット版チョーサー作品集がチェンバレン外務大臣から松平駐英大使に贈られた[12]。この時に用意された展示会目録は，イギリスの古書店として名高いバーナード・クォリッチ社の F. S. ファーガソンが作成した[13]。163 点の選定書には，もっとも古いものとしてキャクストン印行『カンタベリー物語』初版の零葉が，最新のものではゴランツが序文を寄せた『キャドモン写本』のファクシミリ版（1927 年刊行 ; ゴランツ寄贈）が含まれている。またこのイギリス政府からの寄贈書が東京に到着すると，前年に落成したばかりの附属図書館（現・本郷キャンパス総合図書館）において[14]，イギリス印刷史展覧会が 1929 年秋に開催され一般にもその内容が

10）前掲書，pp. 7–12。寄贈書は総計およそ 30 万点にも及んだとされる。

11）前掲書，pp. 7–8。

12）前掲書，p. 8。

13）当時の様子を撮った写真は絵葉書になり次の URL 上でデジタル画像を閲覧できる：http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/josetsu/2008_11/image/image15.jpg（最終閲覧日：2010 年 1 月 25 日）。

14）図書館再建をはじめとした本郷キャンパスの復興計画で中心的な役割を果たした内田祥三の業績に焦点を当てた展示会「内田祥三と図書館再建 80 年」

公開された。

その後，このイギリス政府からの寄贈本については，書誌学的な調査は特に行われてこなかったと思われる。ゆえにどれだけの数が現存するのか，各書物の書誌情報や保存状態といった問題は不明のままであった。そこで筆者は，この貴重書コレクションの内 15・16 世紀の刊本に対象を絞り，それらの書誌学的な調査を行った。本稿の最後に載せた一覧は冊子体に関する調査結果をまとめたものである。寄贈書の中にはファクシミリ本や零葉も含まれるが，それらはここでは対象外としている。

原資料の中でもっとも古いものはリチャード・ピンソンが 1510 年に刊行したジョン・フィッシャーの著作（A100:1117）である。またその次に刊行年の古いジュリアン・ノタリー印行の『セント・オルバンズの年代記』（1515 年；A100:1118）は，ESTC に報告されている現存数は 12 点と少なく，希少価値が高い。この他にも，ヘンリー八世がルターの宗教改革に反駁して著した『7 つの秘跡の擁護』（1521 年；A100:1120），印刷本ミセラニー『アーノルドの年代記』（1525 年？；A100:1121），アングロ・サクソン語と英語で印刷された福音書（1571 年；A100:1136）など，イギリス印刷史・文学史を考える上できわめて重要な書物の数々が揃っている。またマキャベリ著『フィレンツェ史』の英訳版（A100:1143）には，英訳者 Thomas Bedingfeld の自著が標題紙に記されているなど，来歴の上でも大変貴重な資料も数点見つかった。さらに寄贈当時の記録では一冊と思われていた書物のなかに，複数の版が一緒に綴じられた合冊本が二点あった。ひとつはテューダー朝を代表する好古家ジョン・リーランドの著作 4 点を集めたもので（A100:1125），16 世紀半ばのイギリスを考える上で重要な資料である。もう一冊はトマス・ウォルシンガムの著作など 3 点

が 2008 年 11 月 28 日（金）から 2009 年 4 月 22 日（水）まで本郷キャンパス総合図書館 3 階ロビーで開催された。展示の内容は同図書館のホームページ上で公開されている <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/josetsu/2008_11/index.html>（最終閲覧日：2010 年 1 月 25 日）。

を収めたもので（A100:1138），STC/ESTC によるとこれらは最初から合冊本となるよう印刷されたようである。

寄贈当時の目録には 28 版の 16 世紀刊本の原資料が記録されているが，このような合冊本の中身も合わせると，実際には 33 版が含まれていたことになる。しかし残念ながら，キャクストンの弟子であったウィンキン・ド・ウォードが 1521 年に出版した宗教書『十戒の花』（*The Floure of the Commandments of God*）と，ジョン・ビドルが 1535 年頃に刊行した，キケロの『老年について』（*De Senectute*）の二冊は欠本となっていた。このため 2010 年 1 月の時点では，31 版が総合図書館に保管されていることになる。

歴史ある東京大学附属図書館所蔵本であるが，オンライン版 ESTC で検索すると，残念ながらその所蔵情報が登録されているのはフィッシャーの著作 1 点がのみである。また筆者の調べによると，明星大学や一橋大学など，イギリス初期刊本を確実に数十点は所蔵する日本の大学図書館についても，ESTC には情報が登録されていない。最初に述べたように，ESTC の日本の所在情報はきわめて断片的であることは明白である。近年の文学の研究分野では，書物の余白に残された読者の声／書き込みを探る研究が益々盛んとなっており[15)]，こうした受容史的な研究には，資料をどこで実際に閲覧できるのかを把握することが大切である。欧米に比するとその所蔵数は少ないとはいえ，我が国に眠る書物についてもその内容と所在を把握して公開すべき時期を迎えているのではないだろうか。ESTC への日本国内所在本情報の登録を実現させるべく，全国各地に散在するイギリス初期刊本の発掘と書誌記述を引き続き進め，その成果を少しずつ発信していきたい。

15）最近の研究では，Alison Wiggins, ‘What Did Renaissance Readers Write in their Printed Copies of Chaucer?’, *Library*, 7th ser. 9 (2008), 3–36; William H. Sherman, *Used Books: Marking Readers in Renaissance England*（Philadelphia: University of Pennsylvania Press, 2008）などが挙げられる。

東京大学附属図書館「英国書史関係集書」（16 世紀冊子体）

Exhibition of Book (1929)[16]	書架番号	STC	著者名・書名・出版情報
17	A100:1117	10905	Fisher, John. Treatise concerning the fruitful sayings of David. London: Richard Pynson, 1510. (A1, Z1, Z5-6 in pen-and-ink facsimile.)
18	A100:1118	10000	[The Saint Albans Chronicle]. London: Julian Notary, 1515.
19	欠		The Floure of the Commaundementes of God. London: Wynkyn de Worde, 1521.
20	A100:1120	13078	Henry VIII. Assertio septem sacramentorum adversus M. Lutherum.... London: Richard Pynson, 1521.
21	A100:1121	783	Arnold, Richard. [Arnold's Chronicle]. [Southwark: Peter Treveris, 1525?]. (Lacking A1, U6; U5 is supplied in pen-and-ink facsimile.)
22	A100:1122	13084	Henry VIII. Literarum, quibus inuictissimus princeps, Henricus octauus respondit, ad quandam epistolam M. Lutheri.... London: Richard Pynson, 1526. (Lacking G4.)
23	A100:1123	9561	[Yearbook (21 Edward III)]. London: Richard Pynson, [1527?].
24	欠		Cicero. De Senectute. London: John Byddell, [1535?].
25	A100:1125	15446	Leland, John. Naeniae in mortem Thomae Vitai equitis incomparabilis. London: [Reynold Wolfe, 1542].
		15443	Leland, John. Genethliacon illustrissimi Eäduerdi principis Cambriae. London: Reynold Wolfe, 1543.

16）*Exhibition of Book: Illustrative of the History of English Printing and Book Production Presented by H. M. Government to the Imperial University of Tokyo*（London: William Clowes and Sons, 1929）の目録番号。

25	A100:1125	15440	Leland, John. Assertio inclytissimi Arturij regis Britanniæ. London: [Reynold Wolfe], 1544.
		15444.5?	Leland, John. Cygnea cantio. London: [Reynold Wolfe], 1545. (2A1-2P4 only.)
26	A100:1126	5169	Institution of a Christen man. London: Thomas Berthelet, 1543.
27	A100:1127	11899	Giovio, Paolo. A Shorte Treatise vpon the Turkes Chronicles. London: Edward Whitchurch, 1546.
28	A100:1128	10090.5?	Injunctions. London: Richard Grafton, 1547.
29	A100:1129	1299	Bale, John. The Ymage of Both Churche. London: John Wyer, 1550. (Lacking 2L4.)
30	A100:1130	5991	Cranmer, Thomas. Answer to Stephen Gardiner. London: Reynold Wolfe, 1551.
31	A100:1131	25112.5	Watson, Thomas. Holsome and Catholyke Doctryne Concerninge the Seven Sacramentes.... London: Robert Caly, [1558]. (Lacking 2A8.)
32	A100:1132	5281.8	Cicero. Marcus Tullius Ciceroes thre Bookes of Duties. London: Richard Tottell, 1558.
33	A100:1133	9362.1	Henry VIII. [Statutes: 3-7 Henry VIII]. [London: Thomas Powell?, 1563?]. (A1-B6, C2 only.)
34	A100:1134	4778	Castiglione, Baldassare. The Courtyer of Count Baldessart Castilio. London: W. Seres, 1561. (3A1 in facsimile.)
35	A100:1135	17653a?	Matthew of Westminster. Flores Historiarum. London: T. Marsh, 1570.
36	A100:1136	2961	[The Gospels in Anglo-Saxon and English]. London: John Day, 1571.
37	A100:1137	5687	Cooper, Thomas. Thesaurus Linguae Romanae & Britannicae.... London: [H. Denham], 1573. (Lacking ¶4.)

38	A100:1138	863	Asser, John. Ælfredi Regis res gestæ. London: John Day, 1574.
		25005	Walsingham, Thomas. Ypodigma Neustriæ per T. de Walsingham.... London: John Day, 1574.
		25004	Walsingham, Thomas. Historia breuis Thomas Walshingham.... London: Henry Binneman, 1574.
39	A100:1139	6429	Day, Richard. Book of Christian Prayers. London: John Day, 1578.
40	A100:1140	12458	Guicciardini, Francesco. The Historie of Guicciardin Conteining the VVarres of Italie. London: Thomas Vautrollier for William Norton, 1579.
41	A100:1141	22221	Seneca. Seneca his Tenne Tragedies. London: Thomas Marsh, 1581. (Lacking A1, F4.)
42	A100:1142	13569	Holinshed, Raphael. The First and Second Volumes of Chronicles.... London: [Henry Denham, 1587]. 3 in 4 vols. (Lacking vol. 1's 2R6, vol. 2's ¶ 8.)
43	A100:1143	17162	Macchiavelli, Nicholas. The Florentine Historie. London: Thomas Creede for William Ponsonby, 1595.
44	A100:1144	15318	Barleti, Marin. The Historie of George Castriot, Surnamed Scanderbeg, King of Albanie. London: [R. Field] for William Ponsonby, 1596. (Lacking ¶ 1.)

Synopsis

A Research Note on the University of Tokyo Library's Early English Books: Toward Registering Japanese Entries into the ESTC

Satoko Tokunaga

The online version of the English Short Title Catalogue (ESTC) is a database that is designed to include bibliographic records of surviving copies of letterpress produced in Great Britain or any of its dependencies worldwide from 1473–1800 (http://estc.bl.uk). One of this online catalogue's advantages is that it has enhanced the surviving copies' information. A sample search of this online catalogue, however, soon reveals that it contains few entries detailing holdings in Japanese libraries. This is simply because no systematic research has examined Japanese holdings. To register Japanese entries in the ESTC, the present writer started to compile a list of early English printed books housed in Japanese libraries, with a special focus on books dating from the 15th and 16th centuries. Of the various copies that the writer has found so far, this paper sheds light on a unique collection, housed in the University of Tokyo Library, which the British government donated to support the Tokyo UL's restoration, which suffered great damage from the Great Kanto Earthquake in 1923. This paper's appendix provides the list of all the 16th-century copies of this special collection, some of which have not been recorded before.